



天皇誕生日祝賀レセプションに出展

(一財)自治体国際化協会パリ事務所 所長補佐 吉田 祐介 (岡山県備前市派遣)
所長補佐 灰屋 英成 (石川県金沢市派遣)

はじめに

日本の在外公館では、毎年、2月23日の天皇誕生日またはその近接日に各国関係者を大使公邸などに招待し、「天皇誕生日祝賀レセプション」を開催しています。同レセプションでは、レセプションの参加者に対して日本の食や特産品、観光客誘致、国際貢献などのPRが行われており、クレアパリ事務所は、その一環としてブース出展を行い、日本の地方の魅力を発信しています。2023年度は、これまでも出展しているフランスに加え、新たにベルギー、モナコで開催された天皇誕生日祝賀レセプションに出展しました。

ベルギーでの様子

2024年2月29日、在ベルギー日本大使公邸にて、天皇誕生日祝賀レセプションが開催されました。三上正裕特命全権大使が主催し、ベルギー当局関係者、国際機関関係者、外交団、企業関係者など、各分野の第一線で活躍される200人近くの人々が来場されました。開会式では、ベルギー国歌および日本国歌斉唱後、三上大使および主賓のドゥ＝クレム・ベルギー万博担当事務総長がそれぞれあいさつを行いました。三上大使は、天皇陛下への祝意のほか、日本とベルギー、欧州連合(EU)、北大西洋条約機構(NATO)などとのパートナーシップに言及し、気候変動、食糧危機、感染症など、世界が今日直面しているさまざまな課題に対処する考えを述べるとともに、2024年1月1日の能登半島地震の甚大な被害に対し寄せられた、ベルギーをはじめ、多くの国の人々からの温かいお見舞いに対し謝意を表明しました。

クレアパリ事務所のブースでは、ベルギーとゆかりのある日本の自治体を中心に地域の魅力をPRしたところ、ベルギー人および現地在住日本人が大勢訪れ、パン

フレットを手にとってくれました。日本を訪れたことがある人も多く、旅の思い出を懐かしそうに振り返ったり、次の日本旅行の計画を楽しそうに語っていました。



来場者に日本のPRを行うクレアパリ事務所職員

この他にもベルギー・アントワープ市と姉妹都市である金沢市のブースでは、金沢市の日本酒や和菓子がふるまわれ、来場者は興味深そうに和菓子を食べ比べ、日本酒に舌鼓を打っていました。また、アントワープ市から金沢大学に留学していたボランティア2人が特産品の金箔貼り体験の指導や文化紹介を行いました。

そのほか、同レセプションには、ベルギーの自治体と姉妹都市提携している日本の自治体を紹介するブースやEUの日本産食品輸入規制の完全撤廃に伴う北海道産ホタテ紹介ブースなどの出展がありました。さらに日本で盆栽を学んだベルギー人が作成した盆栽が展示され、来場者の注目を集め、写真撮影や育て方など次々と質問されていました。



ベルギーと姉妹都市の日本の自治体紹介ブース

ベルギーにおいて、日本や日本文化への関心の高さを実感することができるとともに、日本の地域の魅力をアピールする良い機会となりました。

モナコでの様子

2024年3月6日、モナコ公国において、天皇誕生日祝賀レセプションが開催されました。下川眞樹太モナコ特命全権大使夫妻の主催のもと、会場のF1 モナコグランプリのヘアピンカーブで有名なフェアモント モンテカルロに、モナコ政府関係者のほか、モナコで活動する企業・団体などの関係者ら約80人が一堂に会しました。

会の冒頭、モナコ在住のソプラノ歌手である平盛クスト友佳子さんが登場し、日本とモナコ双方の国歌が独唱されました。荘厳な雰囲気会場に包まれる中、続いて、下川大使から、天皇陛下のお誕生日に対する祝意と日本とモナコの良好な両国関係に対して感謝の言葉など、ごあいさつがありました。その後、パトリック・メドゥサン元駐日モナコ大使に対する旭日重光章の伝達式が行われました。本叙勲は、日本・モナコ間の関係強化および友好親善に寄与されたことを称えるもので、受章に際してのごあいさつでは、東日本大震災直後から始まった氏の任期中の出来事を振り返りつつ、日本への思い、関係者への感謝の言葉などが述べられたほか、故グレース・ケリー妃との思い出のエピソードなども披露されました。

クレアパリ事務所は、同レセプションにブースを出展し、全国自治体のPRを行いました。ブースを訪れた人の中には、戦中に日本に住んでいたという女性の方や東日本大震災を通じて日本とつながったという方もおられ、さまざまなバックグラウンドをお持ちの人々から日本への思いを聞かされ、心が温くなる瞬間が多々ありました。また、日本酒をふるまいつつ、日本地図や各自治体のパンフレットを広げ、来場者とお話しする中で感じたのは、日本の伝統文化への関心の高さでした。アニメやポップカルチャーも含め、日本に対しての漠然とした憧れのような思いをお持ちの方が多く、日本への旅行を企画しているという方も多数お越しになりました。

この他にも、会場には見事な盆栽が数点展示されていました。モナコにおいても盆栽の愛好家の集まりが存在

することに驚くと同時に、日本文化を愛する人々の存在を心強く思いました。



来場者の質問に答えるクレアパリ事務所職員



盆栽を熱心に鑑賞する来場者の様子

終わりに

本レセプションは、多数の親日家が集まり、中には強い発信力をお持ちの方も参加されるので、出展する効果は大きいと思います。外務省から自治体あてに希望調査を行っており、自治体の個別出展も可能です。

クレアパリ事務所は、引き続きパリだけでなくフランスの地方都市において、日本の地域の魅力を積極的に発信してまいります。

また、自治体がフランス国内外でプロモーションを行う際、クレアパリ事務所のネットワーク、知識、経験を活かしたさまざまなサポートを行っています。観光や地元製品のPRを検討される自治体の皆さまは、ぜひクレアパリ事務所にご相談ください。